

大阪・淀川低地の沖積層基盤地形 と完新世高海水準期の海域

Basal Topography of the Alluvium and Sea Area during the Holocene
Highstand around the Yodogawa Lowland Plain, Osaka Basin, Japan

別所秀高

BESSHO Hidetaka

はじめに

① 研究対象地域の地形概観

② 研究方法

③ 沖積層

④ 沖積層の基盤地形

⑤ 鬼虎川海岸にみられる海況と高海水準期の海域

おわりに

【論文要旨】

淀川低地の沖積層基盤地形および完新世高海水準期の海域について、7360本のボーリングデータと考古遺跡の地層データから検討した。その結果、沖積層基盤地形には最終氷期最寒冷期直前の古淀川河谷や古長瀬川河谷、古西除川河谷とともに基盤グロウクの沈降部に形成された深野湿原が現れた。また、ボーリングデータベースから作成した柱状図断面で波食棚や海食台とみなせる平坦面や緩傾斜面を抽出し、完新世高海水準期の淀川低地に広がる海域を復元した。その海域は伊丹台地、千里丘陵、富田台地、枚方丘陵の前縁、生駒山地の西麓、上町台地の周縁に沿って広がり、淀川三川合流点付近にも到達していたとみられる。

【キーワード】 沖積層、基盤地形、完新世高海水準期、淀川低地、ボーリングデータベース